

# 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、年明けに第6波、夏には過去最大となった第7波と言われる感染流行の波が押し寄せ、日常生活や経済活動に多大な影響を及ぼすこととなりました。

一方で7月には、本市出身の高瀬隼子さんが執筆された「おいしいごはんが食べられますように」が、第167回芥川龍之介賞を本市出身者として初めて受賞されました。さらに8月、本市で開催された全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会では、新居浜東高等学校の齋藤朱音さんが他選手を寄せ付けない強さで見事優勝されるなど、市制施行85周年を迎えた記念すべき節目の年に大変明るく、喜ばしいニュースがありました。

また、市政におきましても、SDGs（国連が掲げる持続可能な開発目標）の達成に向けて、優れた取り組みを行う自治体として、国から「SDGs 未来都市」に選定されるほか、「カーボンニュートラルポート モデル港」に新居浜港が選ばれたことに伴い設置された「新居浜港カーボンニュートラルポート推進協議会」において、脱炭素社会の実現を目指して検討を進めております。

本市には今から10年以上前、銅製錬の過程で発生した亜硫酸

ガスによる煙害問題に立ち向かい、植林により山々を緑に復元するとともに、製錬方法の改善を図り、煙害を完全に克服した歴史がございます。

このような歴史を持つ本市におきまして、地球規模での取り組みが必要な「SDGsの達成」につながる施策を積極的に推進していくことで「市民の皆さんが世界に誇れるまち」、そして「市民の誰もが心の豊かさや幸せを実感し、光り輝き活躍できるまち」を目指してまいります。

あわせて、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに社会経済活動との両立を図るべく、ウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据えた各種施策に全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。結びに、市民の皆さまのご多幸、ご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

新居浜市長 石川勝行

